



水と緑の回遊都心をつくる会 代表

坂本 安輝子 さん

パレットメモ



私たちの会は、今はまだまだ基盤づくり。
近いうちに提案の発表を行なうつもりで
すが、いずれワークショップなどが出来れ
ばいいな!



ボランティアを始めたきっかけは？

岡山の恵まれた水と緑を生かして、“美しく住みよいまち”をつくりたいと、以前から友人たちと話し合っていました。そして、都心で閉校となった、出石小学校跡地整備事業プロポーザルの審査委員となったことがきっかけで、そこに隣接する下石井公園 & 西川緑道公園をもっと魅力的な場所にしたと考え、2年ほど前に会を立ち上げました。



こんな活動をしています！

今は、主に西川緑道公園の改善策を提案する準備をしています。まずは、現状を正確に知ることが大切なので、今年の春から夏にかけて、専門家のご協力(もちろんボランティア!)を頂きながら、植栽の実態調査を行ないました。樹木の高さや枝の拡がり、幹の大きさなどを測定し、健康状態なども丁寧に調べました。また、植栽に加え、西川緑道沿いの道路交通のあり方や、都心における“水と緑のネットワークづくり”を考えるため、専門家の方々と共に「西川塾」と銘打つ勉強会を重ねています。



あなたにとってボランティアとは？

純粋に自分の“思い”を実現する方法のひとつです。業務としてまちづくりに携わったこともあります。仕事で求められることと自分の求めることが同じとは限りませんし、一貫して同じテーマを追い続けることは難しい。ボランティアは推進力が弱い面もありますが、ぶれることなく真っすぐに目的に向かって進むことが出来ると思います。